



市議会から

こんにちは

NO. 74

令和6年
4月25日 発行
(2月定例会)



春のステキスポット (K.S.さんの作品)

市の天然記念物にも指定されている大沢町の龍蔵寺さんの六尺藤です。広い日光市内には、まだまだ知られざるステキスポットがたくさんありますよ！遠くへのお出かけもいいけれど、春の陽気と一緒に、普段よりちょっとだけ足を延ばして、近所のお気に入りの場所探しの旅はいかがですか。



おもな内容

2月定例会で審議した議案と結果	2
議員別賛否一覧	3
代表質問	4
一般質問	7
令和6年度当初予算審査	10
委員会活動報告	14
議会のおもな動き・編集後記	16

令和6年2月定例会で審議した議案と結果

令和6年2月定例会を2月6日から3月21日まで、45日間の会期で開催しました。審議した案件は、報告1件、執行部提出議案56件でした。
 なお、一般質問は3月4日、6日、7日の3日間にわたり、11名の議員が28項目について行いました。

議案番号	議案名	議決結果
報告1号	市長の専決処分事項の報告について 「損害賠償の額の決定及び和解」	報告
第1号	令和6年度（2024年度）日光市一般会計予算について	原案可決
第2号	令和6年度（2024年度）日光市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決
第3号	令和6年度（2024年度）日光市後期高齢者医療事業特別会計予算について	原案可決
第4号	令和6年度（2024年度）日光市介護保険事業特別会計予算について	原案可決
第5号	令和6年度（2024年度）日光市診療所事業特別会計予算について	原案可決
第6号	令和6年度（2024年度）日光市温泉事業特別会計予算について	原案可決
第7号	令和6年度（2024年度）日光市銅山観光事業特別会計予算について	原案可決
第8号	令和6年度（2024年度）日光市公共用地先行取得事業特別会計予算について	原案可決
第9号	令和6年度（2024年度）日光市水道事業会計予算について	原案可決
第10号	令和6年度（2024年度）日光市下水道事業会計予算について	原案可決
第11号	教育長の任命につき議会の同意を求めることについて	原案可決
第12号	教育委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案可決
第13号	教育委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて	原案可決
第14号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて	原案可決
第15号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて	原案可決
第16号	固定資産評価審査委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて	原案可決
第17号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	原案可決
第18号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	原案可決

第19号	日光市地域循環によるゼロカーボンシティ実現条例の制定について	原案可決
第20号	日光市監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第21号	日光市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第22号	日光市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第23号	日光市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第24号	日光市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第25号	日光市介護保険財政調整基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第26号	日光市学校設置条例及び日光市スクールバス運行条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第27号	日光市体育館条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第28号	日光市ねたきり在宅者及び重度心身障がい者介護手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第29号	日光市立保育所及び日光市立家庭の保育等施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第30号	日光市集会所条例及び日光市集会所施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第31号	日光市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第32号	日光市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第33号	日光市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第34号	日光市指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第35号	日光市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防の効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第36号	日光市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防の効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第37号	日光市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第38号	日光市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第39号	日光市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第40号	日光市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び日光市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

令和6年2月定例会の
議員別賛否一覧

○…賛成 ●…反対

(賛否が分かれたもののみ掲載)

議案番号	第1号	第2号	第3号	第4号	第23号	第52号
	令和6年度(2024年度)日光市一般会計 予算について	令和6年度(2024年度)日光市国民健康 保険事業特別会計予算について	令和6年度(2024年度)日光市後期高齢 者医療事業特別会計予算について	令和6年度(2024年度)日光市介護保険 事業特別会計予算について	令和6年度(2024年度)日光市介護保険 定について	令和5年度(2023年度)日光市一般会計 補正予算(第8号)について
採決結果	可決	可決	可決	可決	可決	可決
可：否	22:1	22:1	22:1	22:1	22:1	22:1
川村寿利	○	○	○	○	○	○
田村耕作	議長のため採決には加わらない					
武田幸雄	○	○	○	○	○	○
福田悦子	●	●	●	●	●	●
齊藤正三	○	○	○	○	○	○
山越享太郎	○	○	○	○	○	○
筒井 巖	○	○	○	○	○	○
村上正明	○	○	○	○	○	○
高見尚希	○	○	○	○	○	○
荒川礼子	○	○	○	○	○	○
斎藤久幸	○	○	○	○	○	○
和田公伸	○	○	○	○	○	○
川島憲朗	○	○	○	○	○	○
斎藤伸幸	○	○	○	○	○	○
青田兆史	○	○	○	○	○	○
山越梯一	○	○	○	○	○	○
生井一郎	○	○	○	○	○	○
齋藤文明	○	○	○	○	○	○
亀井崇幸	○	○	○	○	○	○
嶋田正法	○	○	○	○	○	○
大島 浩	○	○	○	○	○	○
斎藤宏明	○	○	○	○	○	○
瀬高哲雄	○	○	○	○	○	○
三好國章	○	○	○	○	○	○

第議 53 号案	第議 52 号案	第議 51 号案	第議 50 号案	第議 49 号案	第議 48 号案	第議 47 号案	第議 46 号案	第議 45 号案	第議 44 号案	第議 43 号案	第議 42 号案	第議 41 号案
補正予算(第3号)について	令和5年度(2023年度)日光市一般会計補正予算(第8号)について											
原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決

次回(令和6年6月定例会)
日光市議会定例会会期日程予定

【会期 5月30日(木)~6月14日(金) 16日間】

月/日	曜日	会期日程	備 考
5/17	金		陳情締切(17時)
5/30	木	本 会 議	開会・上程
6/3	月	本 会 議	委員会付託
6/5	水	付託委員会	議案等審査
6/6	木	付託委員会	議案等審査
6/7	金	付託委員会	議案等審査
6/10	月	本 会 議	一般質問
6/11	火	本 会 議	一般質問
6/12	水	本 会 議	一般質問予備日
6/14	金	本 会 議	採決・閉会

※ この予定は変更となる場合がありますので、議会傍聴等は改めて議会事務局にお問い合わせ願います。
問合せ先 0288-21-5140(議会事務局直通)

第議 56 号案	第議 55 号案	第議 54 号案
日光市条例の一部を改正する条例の制定について	令和5年度(2023年度)日光市一般会計補正予算(第2号)について	令和5年度(2023年度)日光市一般会計補正予算(第2号)について
原案可決	原案可決	原案可決

「代表質問について」

日光市議会では、2人以上の議員で構成される会派に属する議員が、市長の「施政方針」に対し、その会派を代表して質問を行うことができますこととしています。

代表質問は事前通告制をとっており、会派の構成人数に応じ質問の持ち時間を定めています。

○持ち時間（執行部答弁を含む）			
会派構成人数	2人から 3人	20分	
	4人から 7人	30分	
	8人から11人	40分	

令和6年度施政方針概要

《市政経営の基本方針》

令和6年度は第2次日光市総合計画後期基本計画の仕上げに向かう後半戦のスタートとなる。人口減少の進行を抑え、さまざまな課題や困難に立ち向かっていくため、後期基本計画に掲げた「まちづくり人口」の充実に向けて重点プロジェクトや重点施策を推進していく。



▲施政方針全文

《予算編成の基本的な考え方》

物価高騰の影響を受け、市民への負担を最小限にとどめるため基金の活用等によりこの状況を乗り越える。加えて、カーボンニュートラルの実現に向けた事業など、後期基本計画を推進するための事業に財源を重点配分するなどとともに、市内経済の活性化と公共施設マネジメントの推進を図るため、普通建設事業費を拡充した。

《結びに》

日光市で働く女性や活動する若者が活躍することで、人口減少により地域の衰退が懸念される厳しい状況にある日光市を明るく一変させると信じ、「夢と希望」にあふれる日光市の創造に向け、全力を尽くして市政経営に取り組んでいく。

代表質問

2月16日に4つの会派による代表質問を行いました。

掲載内容は、質問と答弁を要約したものです。すべての質問と答弁は市議会ホームページまたは後日作成される会議録でご覧いただけます。

会派名の下に二次元コードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、代表質問の録画中継を視聴できます。



会派名

動画視聴



光和

動画視聴



瀬高哲雄議員：施政方針で「夢と希望を持ち続けることが、

当市の更なる魅力向上につながる」と信じ、将来にわたり光

り輝く日光市の創造を目指す」と示された。一方で、施

策の展開、事業の説明から、市長が目指す将来像を読みと

ることができない。市長が語る「夢と希望」の先に市政経

営の基本方針がどのように反映されているのか。

粉川昭一市長：第2次日光市総合計画後期基本計画では「ま

ちづくり人口の充実」を掲げ、様々な施策を展開している。

また、持続可能なまちにして、また、「選択」と「集中」

により重点的に進める施策を明確にしなくてはならない。

「夢と希望」にあふれる日光市の創造に向け、特に注力す

る重点プロジェクトとして「産業振興」「互助・共助」「教育」

を位置付けている。令和6年度は、これらに加え、女性や

若者が活躍できる環境を整えていくことで、持続可能な日

光市を創り上げていく。

議長：年末年始から、市長の挨拶の場などでは、G7関係閣

僚会合と女性活躍事業、ご当地ナンバード、奥日光の脱炭素、CHOCOTO NICK

市長：私の意見が入っていないことは全くない。最終的な執行者として、いろいろな部署からの意見をすべて受け止めて精査し、自分の中で判断している。熱意というものの表し方は人それぞれであると思うが、どのような事業に対して

も熱意を持っている。令和6年度の事業に関して、意見を聞きながら、また自分の意見も入れながら決めていく。

議員：令和6年度予算編成の基本的な考え方では、物価高騰の中、市民への負担を最小限にとどめ、基金を有効活用することが示された。一方、長期財政収支見通しでは、令和7年度に経常収支比率96パー

セント、財政調整基金の残高を15億円以上確保すること、令和9年度に基金が枯渇して

令和10年度に赤字転落することを防ぐため、それまでに財政収支を整えることを掲げているが、財政改革と令和6年

度予算案の整合性は。

市長：長期財政の収支見直しは、財政健全化の取組の必要性を共有するために、令和2

0が出てくる。この4事業が日光市の今の事業の顔として出てくるものだと思うが、これらに対し、市長の強い思い

が読み取れない。市政経営の基本方針に市長の熱意をどう盛り込んでいるのか、市長の

考えがどのくらい反映されているのかを伺う。

議長：私の意見が入っていないことは全くない。最終的な執行者として、いろいろな部署からの意見をすべて受け止めて精査し、自分の中で判断している。熱意というものの表し方は人それぞれであると思うが、どのような事業に対して

も熱意を持っている。令和6年度の事業に関して、意見を聞きながら、また自分の意見も入れながら決めていく。

議員：令和6年度予算編成の基本的な考え方では、物価高騰の中、市民への負担を最小限にとどめ、基金を有効活用することが示された。一方、長期財政収支見通しでは、令和7年度に経常収支比率96パー

セント、財政調整基金の残高を15億円以上確保すること、令和9年度に基金が枯渇して

令和10年度に赤字転落することを防ぐため、それまでに財政収支を整えることを掲げているが、財政改革と令和6年度予算案の整合性は。

年度までの決算の動向を捉え推計したものであるが、コロナ禍による国の財政支援やロシアのウクライナ侵攻を発端とした物価高騰など、不測の事態が生じ、令和6年度予算との間に大きな差が生じており、歳入で約37億円、歳出で約43億円の増となった。この物価高騰は市の財政に多大な影響を及ぼし、市民の家計に大きな負担を生じさせている。

このため、基金を活用し、市民生活の支援と地域経済の支えを第一とすることを予算編成の基本方針とした。しかし、市の財政健全化の取組を同時に進めていかなくてはならないことから、令和6年度予算においては、使用料や介護保険事業の見直し等により約1億8000万円の財政効果を見込んでいる。

議員：下野新聞に令和6年度の県内の自治体の予算案の記事が出ていた。日光市と他自治体の最大の違いは財政調整基金の額である。予算とはいえ、2億5000万円と見込んでいますが、こんなに少額なところは他にない。財政調整基金を入れないと予算が組めないというのはどうなのか。

市長：令和5年度は、予定していた12億5000万円の基金からの繰り入れは見送る見込みである。令和6年度もなるべく繰り入れがないようにするのが務めと考えてい

る。長期見通しの中では毎年度1億5000万円の財政効果を出すことが一番重要である。決算では不用額も出るものでそれも見ながら整理していく。財政健全化は目的ではなく手法である。市民生活、市内の経済振興に向けて、取り組んでいくことが重要である。収支見通しについては、今後も立てていくが、しっかりと取り組んでいきたい。

市民フォーラム志向

動画視聴



村上正明議員：まちづくりの重点施策である「互助・共助」について、市民による地域づくりを推進するため、集落支援員を拡充するなどして地域まちづくり協議会内の連携強化や活性化を促進するとあるが、課題解決に向けた取組内容はあるか。

粉川昭一市長：集落支援員については、現在の足尾地域に加え、新たに藤原地域と栗山地域に配置する。支援員は、担当集落の課題解決に向けた施策への取組の他、地域まちづくり協議会を支援し、地域力の向上を図る。また、地域まちづくり協議会については、各協議会が強みや課題を把握して自主的に活動できるように支援を行う。

議員：まちづくりの基本施策と

して「観光」の分野では、日光市観光協会の外部人材登用や地域おこし協力隊などを活用した誘客促進、経済活性化を推進するとあるが、どのように行うのか。

市長：観光協会の外部人材については、観光市場の分析、誘客戦略の構築やその実現のための事業などを考えられる人材の選定を進めると聞いている。地域おこし協力隊については、観光誘客や各地域間の観光関連団体の連携に向けた活動などを実施する。

議員：まちづくりの推進の視点である「地域づくり」では、移住定住の促進に向けて新たな助成制度や地域おこし協力隊の活用が示されたが、その取組について伺う。

市長：移住者が市内に住宅を取得する際の支援や、市内現地見学会の参加者へ交通費の助成を行う。また、地域おこし協力隊を移住コーディネートとし、住民との定期的な交流会の開催により、地域との絆を深め、移住後の生活の不安解消につなげることで、移住定住を促進する。

議員：市では人口減少や過疎化対策として、活動人口や交流人口を積極的に取り入れた地域づくりが重要と考えている。外部人材や地域おこし協力隊、外部委託など専門的人材をどう活用するのか。また、市長が思い描く将来のビジョンを

伺う。

市長：自治体が解決しなければならぬ課題が多岐に渡り、高度化、専門化している。一方、自治体経営の適正化という視点で職員定数の削減をしている中で、多様性や専門性など、高い能力が職員に求められている。地域おこし協力隊は地域の活性化に期待ができ、民間企業の外部人材については、市の業務に専門的な知識の活用ができるとともに、民間の発想力や対応力を、職員が学ぶこともできる。職員が経営感覚を磨くことも必要であり、地域おこし協力隊や民間人材の活用を積極的に進めていきたい。

グループ響

動画視聴



青田兆史議員：G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合において、国際都市としてのポテンシャルを示すことができたことについて、その成果をどのようにつなげていくのか。

粉川昭一市長：G7関係閣僚会合については、当時の担当大臣から、日光市のホスピタリティのすばらしさを各国代表からお褒めいただき、国際会議の開催地としてふさわしいとの評価をいただいた。今回の経験を踏まえ、国際会議

のような会合の誘致について国や栃木県と協議するとともに、開催市として男女共同参画、女性活躍の取組をさらに推進する。

議員：産業基盤の確立を目指し、新たな企業が進出を促進することだが、どのように企業誘致をしていくのか。

市長：栃木県東京事務所等と連携するとともに、日頃から企業やデベロッパとの情報交換を心掛ける。また、私自身がセールスに赴くなど、積極的な誘致活動を展開する。

議員：高齢者が住み慣れた地域で暮らしを継続するためのネットワークづくりについて、その取組を伺う。

市長：地域ケア会議の体制を充実するほか、社会福祉協議会と協働し、高齢者を地域で支える仕組みを構築するとともに、在宅医療・介護連携推進事業による多職種連携に取り組み。

議員：住宅・住環境の分野において、空き家の活用を促進するため、今後の具体的な取組は。

市長：専門的知識や経験を持った民間企業やNPO法人等との連携によるワンストップの相談体制を構築する。

議員：防災・危機管理の分野において、自治会に対し地区防災計画の策定を積極的に勧奨するとあっていくのか、どのよう

市長：広大な日光市では地域ごとに災害リスクが大きく異なることから、特性に応じた地区防災計画の策定が必要である。計画策定マニュアルを策定した上で、自治会等の特性に応じた指導、助言を行うとともに、防災訓練や出前講座など様々な機会に策定を促していく。

議員：物価高騰や賃上げの影響を受ける中でも、三役の給料に加え、一般職の管理職手当の削減を継続することである。これについては、職員モチベーションを考えると元に戻してもいいのではと考えるが、今後も継続するのか。

市長：当市の厳しい財政状況に鑑み、令和2年度から市長10パーセント、副市長及び教育長5パーセントの給料の減額を実施している。また、令和4年度から実施している職員の管理職手当についても、引き続き、部課長級10パーセント、課長補佐級5パーセントの減額をする。

公明党

動画視聴



荒川礼子議員：官民連携の推進体制強化を図るために設置した「スマートワークライフ#nikko」が実施するワーケーションツアーへの支援を充実させることで、活動人

口の獲得に取り組みとあるが、具体的な目標、効果は。

粉川昭一市長：日光市における新しい働き方の定着に向けた取組を行っている。定期的かつ継続的に市に訪れている企業や取組に賛同し共に活動する市外企業等が増えている。取組の継続により、元気で価値ある地域づくりにつながると思えている。

議員：带状疱疹予防ワクチン接種費用に対する助成制度を創設するとあるが、具体的な内容を伺う。

市長：50歳以上の市民を対象に接種費用の2分の1を助成することとし、関係機関との調整後、速やかに開始する。

議員：G7関係閣僚会合を契機に、女性活躍推進事業の取組として女性デジタル人材の育成、雇用の創出となるスマートワークウーマンプロジェクトが開始された。さらなる女性活躍の推進を目指し、プロジェクトの充実を図るとして、プロジェク

市長：現在、ウェブデザインなどができるデジタル人材を8名育成している。令和6年度はデータ入力やウェブ記事作成など事務・業務系を追加して拡充する。また、今年度育成している8人が業務を開始することから、受注体制を確立し、自立に向け取り組み。

議員：女性活躍推進としてはこの事業以外に見当たらない。

少子化・人口減少問題では、特に若い女性の流出が課題となっている。本市が女性から選ばれるまちになるためにさらなる取組が必要と捉えているが、見解は。

市長：教育面や保育園の無償化など、総合的な子育て環境の取組もしながら、女性が就労しやすい環境づくりに取り組んでいる。就業場所、企業誘致などの施策を積み重ね、そういう中でプロジェクトが成功すれば、より注目され、日光市に住んで、また日光市で働いてみようと思っていただける。取組を重ねて、女性が活躍する環境づくりに努めていく。

日光市議会 会派構成人数

光和	10名
市民フォーラム志向	4名
グループ響	4名
公明党	2名
(無会派)	4名



一般質問

一般質問とは、市政全般にわたり、事務の執行状況や方針等について議員が市執行部に質問するもので、定例会ごとに行われます。

2月定例会は、3月4日・6日・7日の3日間にわたり11名の議員が28項目の質問を行いました。

なお、日光市議会は、広報紙を含めた情報発信のデジタル化を進めています。これに伴い、広報紙では、質問事項と議員本人による「**ここがポイント**」を掲載することとしました。

議員顔写真下の二次元コードを、スマートフォンのバーコードリーダーで読み取り、その議員の一般質問の録画中継をご覧ください。

また、一般質問は会議録で読むことができます。会議録は、市役所、行政センター、図書館などにあります。



日光市議会 中継

検索 

ミニがポイント
日光市は2050年に43,723人、2人に1人が高齢者になると言われており、まちを存続するためにはもっと若者や女性の声をしっかり市政に反映させることが重要ではないか、との質問に対し、そうした機会を増やし、若者や女性に選ばれるまちづくりを目指していくと、市長から答弁がありました。



荒川 礼子 議員
(公明党)

動画視聴▶



- 質問事項
- ① 認知症対策について
 - ② これからのまちづくりについて
 - ③ 視覚障がい者の支援について



ミニがポイント
今回は、市民のための公共交通の必要性や、小・中学校の修学旅行及び小水力発電について質問を行いました。中学生の修学旅行の質問では、令和7年度に向けて「中学生の平和記念式典」の派遣を検討するとの答弁を得ました。



斎藤 久幸 議員
(グループ響)

動画視聴▶



- 質問事項
- ① 藤原地域以北の公共交通について
 - ② 小・中学校の修学旅行について
 - ③ 小水力発電について



ミニがポイント
体育施設の維持管理が不十分である市に対して、ふるさと日光応援寄附金（ふるさと納税）を活用して充実を図ることを求めるとともに、活用先が分かるようにし、寄附先に選ばれる市であり続けられるよう、質問を行いました。



高見 尚希 議員
(市民フォーラム志向)

動画視聴▶



- 質問事項
- ① 「NIKKORUN 2024」について
 - ② 体育施設の修繕とふるさと日光応援寄附金の活用について





齊藤 正三 議員
(市民フォーラム志向)



動画視聴▶

- 質問事項
- ①奨学金貸付制度について



ミニポイント
日光市は生産年齢人口の流出が激しく、経済が縮小してしまふ。奨学金を活用し卒業した若者が日光市に戻り就職すれば奨学金の償還が3分の1免除される。これを2分の1にするなど対策を真剣に取り組みべし。若者の確保は「至上命題」である!!



山越 享太郎 議員
(光和)



動画視聴▶

- 質問事項
- ①兼業・副業について
 - ②公共施設について



ミニポイント
公共施設について質問しました。公共のスポーツ施設を継続して使用していくには料金体系の変更が必要になります。日光市民が優先して安全に利用できるように工夫し、市外・県外の方から使用料をきちんと取れるよう努めていきます。



嶋田 正法 議員
(公明党)



動画視聴▶

- 質問事項
- ①市民の健康促進事業について
 - ②移住定住促進事業について



ミニポイント
にっこう健康マイレージ事業の質問に対し、4倍もの医療圧縮効果と企業に対し利用者促進を図るとの答弁を得ることができました。その他にも補聴器の助成・日光有料道路の無償化の実現を目指す一般質問を行いました。



武田 幸雄 議員
(光和)



動画視聴▶

- 質問事項
- ①「ニッコーシネマパラダイス」について
 - ②子ども誰でも通園制度(仮称)について
 - ③NHK大河ドラマ「どうする家康」の観光活用について
 - ④日光市地域防災計画について
 - ⑤教育について

ミニポイント
「日光市の元氣な未来のために!!」をテーマに一般質問をしています。今回は、「映画」「子育て」、「観光」、「防災」、「教育」です。執行部からの回答も前向きでした。



三好 國章 議員



動画視聴▶

- 質問事項
- ①教育委員会全般について
 - ②観光コマースル全般について
 - ③路線バスの運行区域とデマンドタクシー全般について
 - ④ごみ袋配付全般について

ミニポイント
新たな教育長に変わり、これまで齋藤教育長が答弁してきた約束事が守られるか心配なので、おさらいの意味と確認を含めて質問しました。



山越 梯一 議員
(光和)



動画視聴▶

- 質問事項
- ①栃木県水源地域保全条例等について
 - ②中山間地域等直接支払制度について
 - ③廃校となった施設について
 - ④市の過疎対策について

ミニポイント
執行部に対して、①栃木県水源地域保全条例等について、②中山間地域等直接支払制度について、③廃校となった施設について、④市の過疎対策について、事務の執行状況を質しました。

政策調整会議活動報告

議会として、市政に関する重要な課題等に共通認識を持ち、その対応策等の合意形成を図り、政策の立案、提言等を行うことを目的に、令和4年9月に政策調整会議を設置し、「自治会への参加や加入の問題」及び「少子高齢化・人口減少の問題」をテーマとして、令和6年2月まで様々な調査・研究を重ねてきました。

「自治会への参加や加入の問題」は、加入率やごみステーションの問題などの調査を進めるとともに、直接話を聞く必要があるとの判断から、大沢地区自治会への聞き取り調査、意見交換を行いました。調査の過程で見えてきた課題は、地域でそれぞれに異なるもの、共通しているもの、社会変化に起因するものなど、多種多様に及んでいることが明らかになりました。

次に、「少子高齢化・人口減少の問題」については内閣府や国立社会保障・人口問題研究所等のデータ分析や先進事例の研究を行うとともに、当市の事業の調査なども行いました。また、県内各市町の転入・転出の状況に加え、少子化対策白書や出生動向基本調査の分析など多角的な調査・研究を進めてきました。

これらの調査・研究の結果をそれぞれに取りまとめ、令和6年3月21日、市長に提言しました。

この度、このような会議体を創設し、議員間で議論する機会をつくれたことは、単に意思決定機関としてだけでなく、一歩も二歩も進化することができた議会になったのではないかと考えております。今後も、データ等に基づいた調査研究や市民の皆さまとの対話を続けながら、常に政策集団として進化し続ける議会であるべきだと思います。

(田村耕作議長)



政策調整会議の様子



市長に提言する様子

ミニポイント

教育と介護問題を質問。増える外国人児童生徒への教育支援では、新たに日本語指導を行う学校指導助手を任用。介護問題では、全国的に問題となっているケアマネージャー不足に対し、新たに研修費の補助が開始になります。



福田 悦子 議員
(日本共産党)

動画視聴▶



- 質問事項
- ① 外国人児童生徒への教育支援について
 - ② 介護保険について（一在宅看取り二介護人材不足三外国人介護職員）
 - ③ 学校健診について（一不登校児童生徒の健診二プライバシーに配慮した健診環境の整備）

ミニポイント

空き家率23%と県内市町でワーストの当市は、昨年12月施行の改正空き家対策特別措置法で創設された「空き家等管理活用支援法人制度」の導入を目指す方針です。これは、指定を受けた法人が公的な立場で対策業務を行う仕組みです。



斎藤 宏明 議員
(市民フォーラム志向)

動画視聴▶



- 質問事項
- ① 空き家の利活用について
 - ② ベトナムとの交流を踏まえた観光誘客等について



予算審査特別委員会 審査報告

市の令和6年度一般会計予算 457億1,000万円

令和6年度の日光市の予算は、物価高騰の影響を受け、一般行政経費が大きく増加する中、市民の皆さんへの負担を最小限度にとどめるため、基金の有効活用等により、先行き不透明な状況を超えざる予算としました。加えて、カーボンニュートラルの実現に向けた事業など、第2次総合計画後期基本計画を推進するための事業に、財源を重点配分するとともに、市内経済の活性化と公共施設マネジメントの推進を図るため、普通建設事業費の予算を拡充しました。

一般会計予算は前年度比8.7パーセント増の457億1,000万円、4.1パーセント増となった特別会計や、企業会計を合わせた予算の総額731億1,716万円が計上されました。

予算審査特別委員会は、令和6年度一般会計予算ほか予算関連9議案について5日間の日程で審査を行いました。審査では、一般会計、特別会計合わせて124件の活発な質疑が行われ、採決の結果、すべて原案のとおり可決し、3月21日の本会議に報告しました。

委員会での一般会計歳入及び歳出の主な質疑と答弁についてお知らせいたします。

* * * * *

◎一般会計歳入

【固定資産税について】

- 問** 固定資産税について、3年に一度の評価替えが行われたが、今回の評価替えによる固定資産税の特徴を伺う。
- 答** 固定資産税は評価替えにより大きく減少する傾向にあるが、今回は、これまでの評価替えに比べ、特に家屋の減少幅が抑えられた。家屋の課税は、評価時点の資材価格などを参考に再建築価格を算定した上で減価償却し課税額が決定されるが、物価高騰を受け、再建築価格も上昇したことから、課税額の減少幅が縮小された。このことが今回の評価替えの特徴である。

【地方交付税について】

- 問** 市税が前年度よりプラスになっている中で、地方交付税が増額になった主な要因について伺う。
- 答** 子ども・子育て政策の強化や給与改定などに係る財源のほか、昨年に引き続き物価高騰への対応として基準財政需要額が増加していることによるものと捉えている。

◎一般会計歳出

・総務分科会

【新しい働き方推進事業費について】

- 問** 日光の新しい働き方推進事業費補助金の事業内容について伺う。
- 答** リモートワーカーや企業に向けた誘致・誘客プロモーションのためのSNS、ホームページ、PR動画、小冊子の作成と運用及びワーケーションツアーの造成や地域事業者に向けた勉強会等の交流イベントの実施を予定している。

【消防本部運営費について】

- 問** 訓練用ドローン購入費について内容を伺う。
- 答** 訓練用ドローンの購入費は約35万円で、1機の購入を予定している。免許取得者の養成には時間がかかることから、次年度以降も計画的に養成していくにあたり、購入する訓練用ドローンを活用していく予定である。

・民生教育分科会

【高齢者運転免許証自主返納支援用交通系ICカード購入費について】

問 交通系ICカードはいくら分のものを交付するのか伺う。

答 バス・タクシー券については11,000円を交付しているが、ICカードについては、使い捨て防止のためのデポジット分として500円分が必要であることから、10,500円分をチャージしたICカードを交付する。

【美術作品収集事業費について】

問 入江観氏の絵画「白い馬」の購入理由について伺う。

答 入江観氏は、日光市出身で現在も第一線で活躍している画家である。今回購入する「白い馬」は、第37回の春陽会展で最高賞を受賞した作品であり、入江氏の作品の現在までの変化が見られる貴重な資料であるため購入することとした。

・観光産業分科会

【生活路線バス対策費について】

問 市営デマンド交通システム導入業務委託費の事業内容について伺う。

答 小来川地区、落合地区、猪倉地区で運営している市営デマンドバスについて、AIデマンドシステムを導入することで、従来の時刻表に沿った予約に基づく運行ではなく、利用者の予約に合わせてAIがリアルタイムで効率的な配車を行い運行することが可能となるものである。

【地場産業振興費について】

問 伝統工芸産業支援事業費補助金の内容について伺う。

答 本補助金については、市内の伝統工芸産業における人材の確保、技術の伝承、販路の拡大等を目的とし実施するもので、新規就業者を対象とした補助と既存の事業者を対象とした補助の2種類のメニューを設定する予定である。

議会デジタル化推進検討班活動報告

日光市議会では、令和5年2月から公式X（旧ツイッター）の運用を行っており、会議の日程情報、議長が出席した会議等の内容・様子を発信しています。

新たな取組として、令和6年2月定例会から、一般質問後の振り返りインタビュー動画の発信を始めました。

そこで、担当の大島浩副班長、山越享太郎班員に聞きました。

○インタビュー動画の内容

一般質問を終えた直後に、一般質問の手ごたえや反省などの振り返りや、今後に向けての意気込みなどを、本人目線で発信した。

○工夫した点

25秒から30秒の範囲で収まるように、事前に内容の確認や、被写体がリラックスして撮影に臨める場づくりを心掛けた。

○今後の取組

今回初めての試みだったため、Xへのポストのみとしたが、4月からは本会議の中継等が、公式YouTubeへ移行するため、公式YouTubeやほかのSNSとの連携を図っていききたい。



動画撮影の様子



大島浩副班長

山越享太郎班員

予算審査特別委員会

令和5年度一般会計補正予算(第8号)を可決

一般会計補正予算(第8号)の概要

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億1,200万円を減額し、予算総額を462億9,900万円とするもの。
<主な事業>

○道路維持費(除排雪費)(201,000千円)

除排雪業務委託費及び消耗品購入費を追加するもの。

○減債基金積立金(132,793千円)、新型コロナウイルス感染症対策応援基金積立金(87,058千円)

普通交付税の再算定により、臨時財政対策債償還費、臨時経済対策費分として追加交付された額を減債基金、新型コロナウイルス感染症対策応援基金へ積み立てるもの。

○キャッシュレス消費活性化事業費(50,000千円)

物価高騰対策として実施したキャッシュレス決済サービス利用者へのポイント付与事業について、実績が予想額を大きく上回る見込みとなったことにより増額するもの。

○脱炭素先行地域推進事業費ほか(△551,605千円)

事業費減等による不用額を整理するもの。

○住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業費(△354,709千円)

令和6年度予算に組み替えて計上するため減額するもの。

主な質疑と答弁

【繰入金について】

問 令和5年度末の財政調整基金についてどのように見込んでいるか伺う。

答 財政健全化の取組による財政効果や市税及び地方交付税の増額が見込めることなどから、財政調整基金の繰り入れはしないで済むと見込んでいる。

問 令和4年度末の財政調整基金(※1)、減債基金(※2)、合併振興基金(※3)の3基金合計額が約56億円だったが、令和5年度末も56億円をキープできる見通しでよいか伺う。

答 3基金の増減はあるものの5年度末の合計額は、約56億円を見込めるものと捉えている。

(※1) 年度によって生じる財源の不均衡を調整するために財源に余裕がある年度に積み立てておくもの。

(※2) 市債の償還財源を確保し、財政の健全な運営に資するための資金を積み立てておくもの。

(※3) 市民の連帯の強化、地域振興並びに公共施設の適正配置及び長寿命化のための事業費用に充てるため積み立てておくもの。

【キャッシュレス消費活性化事業について】

問 今年度事業費合計の見込みと事業費が大幅に増加した原因を伺う。

答 事業費合計は、9,200万円前後と捉えている。増加した原因は、決済の加盟店が増えたこと。コロナ禍が過ぎて消費が活性化し、年末年始の消費意欲が湧いたことだと捉えている。

【住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業費について】

問 現時点において10万円支給世帯、子供加算支給の対象はどれくらいいるのか伺う。

答 10万円支給となる世帯は約2,000世帯、子供の加算となる人数は1,000人を見込んでいる。

問 他自治体のホームページをみると、問い合わせに対応するための相談コーナーを重視しているようだが日光市の体制を伺う。

答 2月から電話相談、窓口相談に従事する会計年度任用職員を雇うこととしている。また、実際に給付が始まる新年度からは、係を超えて課全体で対応する体制を取る。

令和5年度 行政調査特別委員会 視察実施報告

班	日程	視察先	視察内容	班員
1	10月24日(火) ～26日(木) 【2泊3日】	福岡県太宰府市	大宰府市民遺産の取組について	◎嶋田 正法 ○武田 幸雄 三好 國章 斎藤 伸幸 筒井 巖 生井 一郎 亀井 崇幸
		福岡県筑紫野市	地域コミュニティによるまちづくりの推進について	
		福岡県三井郡大刀洗町	P F I 方式による定住促進住宅整備事業について	
	1月16日(火)	千葉県旭市	旭市多世代交流施設「おひさまテラス」の取組について	
2	10月2日(月) ～5日(木) 【3泊4日】	神奈川県大和市	大和市文化創造拠点シリウスについて	◎川島 憲朗 ○山越享太郎 瀬高 哲雄 山越 梯一 齋藤 文明 和田 公伸 荒川 礼子
		三重県鳥羽市	・鳥羽マルシェについて ・食品ロス対策について	
		三重県志摩市	未来につながる“MICE City Shima”市民会議について	
		三重県津市	白山総合文化センターについて	
3	10月24日(火) ～26日(木) 【2泊3日】	北海道小樽市	観光振興施策について	◎大島 浩 ○斎藤 久幸 川村 寿利 青田 兆史
		北海道江別市	子育てひろば「ほこ あ ほこ」について	
		北海道千歳市	・ゼロカーボンシティ実現に向けた取組や課題について ・ゼロカーボンパーク登録と今後の取組や課題について	
	11月15日(水)	群馬県渋川市	移住定住関係施策について	
4	10月23日(月) ～25日(水) 【2泊3日】	香川県丸亀市	行政評価（内部評価・外部評価）について 【当日の交通障害により視察中止】	◎高見 尚希 ○村上 正明 斎藤 宏明 齊藤 正三
		香川県さぬき市	移住交流・定住奨励金・P R サポーターについて	
		兵庫県西宮市	・老人いこいの家について ・シニアサポート事業について	
	12月25日(月) ～26日(火) 【1泊2日】	静岡県熱海市	観光振興施策について	
		東京都足立区	足立区シティプロモーションについて	
5	10月16日(月) ～18日(水) 【2泊3日】	三重県いなべ市	L G B T 相談事業について	◎福田悦子
		三重県津市	フレイル予防事業について	
		三重県鳥羽市	ユニバーサルツーリズムの取組について	

視察報告書は、日光市議会のホームページに掲載しております。
ホームページをご覧いただけない場合、議会事務局でも閲覧することができます。



◎：班長
○：副班長

視察報告 ▶



各常任委員会と特別委員会は、それぞれ約2年に及び行った調査結果をまとめ、それらに基づいて3月21日に市長に提言等しました。

● 公共施設等あり方検討調査特別委員会

本特別委員会は、当市にとって最適な公共施設等のあり方について調査・研究を行うことを目的に、9名の委員の構成により令和4年6月定例会で設置されました。設置後から令和5年9月までは、日光市文化会館等あり方検討市民委員会の結果等を踏まえた新文化会館建設について協議を行ってきました。

その後、候補地である今市文化会館跡地、七里地内に建設した場合のそれぞれの初期費用、経常経費、利用者の見込み数、財政状況などの質問事項相対表を作成し、執行部に対し説明を求めるとしました。また、立地適正化計画との整合性、ハザードマップによる安全性の確認、関係法令など様々な視点から慎重に調査・研究してきました。

調査・研究を進めていく中で、候補地の1つである七里地内には、想定を超える造成費用等の初期費用、土地買収面積、風致地区による建築物の高さ制限、緑地率30%の確保、洪水浸水想定区域及び砂防指定区域に指定されていることなどがわかり、解決しなくてはならない課題が浮き彫りとなりました。

新文化会館は、今後50年程度使用する施設であることから、施設の安全性、人口推移、利用者の見込み数、次世代への過度な財政負担を避けるなど、様々な面を考慮し建設すべきであります。また、文化会館は市民の方が使う施設であるので、利便性や、公共交通機関等の整備が必要なども併せて検討し、広く市民の方の意見を聞きながら候補地を選定しなければならぬと考えます。

以上のことから、新文化会館にあたってはこれらの調査結果を十分に踏まえて、明確な将来のまちづくりのビジョンを持ち、真に市民の方が望む新文化会館となるよう、慎重に検討していくことを望む旨の中間報告書を、市長に提出しました。

(生井一郎委員長)



特別委員会の様子



市長に中間報告書を提出する様子

総務常任委員会

総務常任委員会では2年間にわたり「行財政改革の取組について」及び「地域まちづくり協議会について」の調査・研究を行い、その結果をまとめ市長への提言を求めた報告書を議長に提出しました。その概要について報告します。

《行財政改革の取組》

①デジタル技術を活用した事務の効率化と市民サービス向上の取組について
人口が減少しても市民サービスの低下のないよう

効率よく業務が進められ、多くの市民が利用しやすい利便性の向上を実感出来るシステムを導入していくこと。また合わせてデジタルガイド対策に努めること。

②組織のスリム化と職員の適正配置の取組について

高齢期職員が築き上げてきた経験やスキルを活かせる配置を行い周囲の職員の育成とワークライフバランスを改善し、市民サービスの向上に繋がる体制づくりを構築すること

《地域まちづくり協議会》

①地域まちづくり協議会の存在や意義が住民に浸透するように広く周知し、関わる人の輪を広げる取組を行うこと。

②地域づくりの中心を担う人材の発掘や育成の機会を設けること。

③地域に根ざした団体になるよう身近にある小さなことから共有を広げ、成功事例を重ねるなど住民のやる気を引き出し、自主性を育むことができる取組を行うこと。

今後、これらの提言がどのように市政に反映されるか注視していきます。

(荒川礼子副委員長)

民生教育常任委員会

当委員会では、所管事務調査事項である「環境政策」について、昨年実施した日光市女性団体連絡協議会役員との意見交換会を踏まえ、2月2日に資源循環推進課との意見交換会を実施しました。

役員の方から出された意見等に対して、「当市は他自治体と比較して事業系ごみの排出割合が多く、観光事業に係る宿泊施設や飲食店等の食品残渣対策は特に重要だと考えている」「ごみステーションの利用に関して多くの問合せ等があるため、積極的に情報発信を行い、市民はもとより、外国人居住者への啓発も重視していきたい」「生ごみ処理機購入補助制度について、今年度はお試しレンタルを実施しており、さらなる普及を図っていく」との回答がありました。

当委員会では、1年間調査・研究してきた結果をまとめ、維持管理等に莫大な経費がかかるクリーンセンターの長寿命化を図るため、将来を見据えた運営方針の策定や計画的な設備の更新について、また、ごみ燃焼の妨げとなる生ごみの水分を切る取組の推進や、生ごみの有効活用を図る仕組みの研究、市民への積極的・効果的な周知・啓発についての内容を提言とし、議長より市長へ提出しました。

今後、各種事業に精力的に取り組んでいただき、持続可能なごみ処理とクリーンセンター長寿命化が図られることを切に願い、当委員会の活動報告といたします。

(筒井巖副委員長)

観光産業常任委員会

所管事務調査事項として調査研究を行ってきた「温泉資源を活用した観光振興及び地域活性化について」及び「地域公共交通について」についてご報告いたします。

《温泉資源を活用した観光振興及び地域活性化について》

2年間にわたり調査を行った結果、温泉資源を活用した「選ばれる」観光地になるために全国の温泉地との差別化を図り地域住民と協働で具体的なターゲット、ブランドコンセプトの設定を行うことが必要であること、また一歩先を見据えた戦略的な観光施策を立てるために現在行っている調査よりも踏み込んだデータ集積と分析が必須であるといった結論をまとめ、報告書を議長に提出いたしました。

《地域公共交通について》

今市南部地区デマンドタクシー運営協議会や執行部との意見交換、先進地視察などの調査研究を進めてまいりました。その結果、デマンドタクシーや地域の実情に合わせた多様な公共交通について調査研究を進め導入について速やかに検討を行うことや、市民の公共交通への理解と協力を得るために現在より踏み込んだ啓発・利用促進施策の展開を図る必要があるといった結論をまとめ、報告書を議長に提出いたしました。

なお、報告書に基づき3月21日に議長から市長へ提言を提出いたしましたので、今後の市政にどのように反映されるか注視してまいります。

(齋藤文明委員長)

総務常任委員会

- ▶ 2月20日 付託議案審査(民生教育常任委員会との連合審査)
- ▶ 2月20日 付託議案審査(観光産業常任委員会との連合審査)
- ▶ 2月20日 付託議案審査他
- ▶ 3月12日 所管事務調査報告書について

民生教育常任委員会

- ▶ 1月23日 所管事務調査「女性団体連絡協議会との意見交換を踏まえた執行部との意見交換」
- ▶ 2月2日 所管事務調査「女性団体連絡協議会との意見交換を踏まえた執行部との意見交換」
- ▶ 2月16日 付託議案審査(観光産業常任委員会との連合審査)
- ▶ 2月22日 付託議案審査
- ▶ 3月13日 所管事務調査報告書について

観光産業常任委員会

- ▶ 1月30日 所管事務調査「地域公共交通について」
- ▶ 2月9日 議会と協議したい重要案件「脱炭素先行地域の事業進捗について」
- ▶ 2月14日 所管事務調査「地域公共交通について」
- ▶ 2月28日 付託議案審査他
- ▶ 3月14日 所管事務調査報告書について

議会運営委員会

- ▶ 1月9日 令和6年2月定例会について(陳情等)他
- ▶ 1月31日 令和6年2月定例会について(陳情等)他
- ▶ 2月2日 令和6年2月定例会について(会期日程等)
- ▶ 3月15日 令和6年2月定例会の日程追加について他

議会全員協議会

- ▶ 1月9日 令和4年度公共施設マネジメント計画実行計画(第1期)の進捗状況について他

- ▶ 2月2日 令和6年2月定例会提出予定案件について他
- ▶ 3月15日 令和6年2月定例会提出予定追加議案について
- ▶ 3月21日 性の多様性に関する職員向けガイドラインについて他

広報広聴委員会

- ▶ 1月9日 1月25日発行広報紙について
- ▶ 2月16日 4月25日発行広報紙について

公共施設等あり方検討調査特別委員会

- ▶ 1月9日 七里地内における洪水浸水想定区域及び砂防指定区域について
- ▶ 3月15日 新文化会館の建設に係る特別委員会からの質問事項に対する執行部からの回答について他

行政調査特別委員会

- ▶ 3月21日 令和5年度行政視察の結果について

日光市議会インターネット映像中継がYouTube配信に変わります



令和6年4月1日から本会議のインターネット映像中継がYouTube配信に変わります。今後は、本会議の生中継、録画中継をYouTubeでご視聴ください。



日光市議会公式チャンネル

日光市議会

検索

youtube.com/@3-hl4pv

編集後記

「もっと議会をわかってもらおう!」と田村議長が表明し、広報広聴委員会を中心に議員全員一丸となって、まずは広報機能強化として「議会広報紙の見やすさ」と「議会デジタル化」に取り組みました。広報紙の一部リニューアルを行ったり、デジタル化については議員6名の精鋭議会デジタル推進検討班のもとX(旧ツイッター)を開始しフォロー数も目標到達し大変好評です。ぜひとも御一読下さい。

また、広聴としては議会報告会・意見交換を今まで自治会、各種団体等と行っておりましたが、主権者教育の一環として今年度はじめて中学生を対象に開催しました。多くの意見をいただき、中には当市が抱える問題解決の糸口となる大変貴重な御意見等もありました。

今後市議会全体で市民の皆さまと様々な機会を設けられるような取組方法を模索し、議会活性化による日光市の限らない発展を目指します。

(広報広聴委員長
副議長 和田 公伸)